

## ●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

### 各地で二毛作の播種

2022年9月27日発『朝鮮中央通信』によれば、各地の農業部門が二毛作の一環としての秋小麦、大麦の播種を行っているとのことである。

### 平壤市に楽浪博物館が開館

2022年9月28日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤市に楽浪博物館が開館し、同日竣工式が行われた。

### 金正恩総書記が習近平総書記に祝電

2022年10月1日付『労働新聞』によれば、中華人民共和国創建73周年に際して金正恩朝鮮労働党総書記、朝鮮民主主義人民共和国國務委員長が習近平中国共産党中央委員会総書記、中華人民共和国主席に祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

北京  
中国共産党中央委員会総書記  
中華人民共和国主席  
習近平同志  
尊敬する総書記同志、

私は中華人民共和国創建73周年に際して朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国政府、全朝鮮人民を代表して、総書記同志と中国共産党と中華人民共和国政府、兄弟的な中国人民に熱烈な祝賀を送ります。

これまでの73年間、中国の党と政府と人民は歴史のあらゆる挑戦と試練を克服しながら社会主義偉業の遂行において刮目に値する成果を成し遂げました。

第18回党大会以降、総書記同志を中核とする中国共産党の指導の下に中国政府と人民は、小康社会を建設し、社会主義現代化国家を全面的に建設する新たな歴史的旅程に入りました。

われわれは中国の党と政府と人民が収めたすべての成果について自分の事のよ様に心から喜ばしく思っております。

中国人民は社会主義建設で新しい里程碑をもたらしようになる中国共産党第20回大会を迎えることになります。

総書記同志の指導があり、党の周りに

団結した中国人民がいるがゆえに、中華民族の復興の夢は必ず実現されるであろうと確信します。

わが党と政府と人民は、国の自主権と領土保全を守り、統一を実現するための中国の党と政府と人民の正義の闘争を変わず支持、声援するでしょう。

こんにち、朝中両党、両国は、社会主義偉業を擁護固守し輝かすための共同偉業の遂行において相互支持、声援しながら、不敗の親善・団結の歴史を引き続き刻み込んでいます。

私は今後も総書記同志と共に、伝統的な朝中友好関係を絶え間なく深化、発展させ、アジアと世界の平和と安定を守るために積極的に努力するでしょう。

総書記同志が、党と国家の責任ある活動でより大きな成果を収めることと中華人民共和国の隆盛・繁栄と中国人民の幸福を願います。

朝鮮労働党総書記  
朝鮮民主主義人民共和国國務委員長  
金正恩  
チュチュエ111(2022)年10月1日  
平壤

### 第13回平壤第一百貨店商品展示会開催

2022年10月3日発『朝鮮中央通信』によれば、同月2日、第13回平壤第一百貨店商品展示会が開幕した。今回の展示会には、各省、中央機関と各道の工場、企業所等で生産された工業製品、食料品をはじめとする2500余種、133万余点の多様な商品が出品された。開幕式には李成鶴内閣副総理をはじめとして、省、中央機関の幹部、生産および商業単位の活動家と従業員が参加した。クァク・チョンジュン商業相が開幕の辞を行った。

### 全国情報化成果展覧会-2022開幕

2022年10月4日発『朝鮮中央通信』によれば、同月3日、全国情報化成果展覧会-2022が情報産業省の主催で国家資料通信網(イントラネット)を通じ、バーチャル展覧会の方式で開催された。今回の展覧会のスローガンは「社会主義の全面的発

展と情報化の熱風」であった。省、中央機関、各級人民委員会、工場、企業所、団体が参加した展覧会には、人民経済各部門と科学、教育、保健、体育部門等でのしとげられた1400余の成果の資料と作品が出品された。会期は同月31日までであった。

### 外務省国際機構局長のロシアのドネツク、ルガンスク統合を支持する談話

2022年10月4日発『朝鮮中央通信』によれば、外務省のチョ・チョルス国際機構局長は、「去る9月23日~27日までドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国、ヘルソン州、ザポロージェ州で行われた国民投票は、諸民族の平等と自決権の原則を規定した国連憲章に合致するように、そして現地住民の意思が十分に反映されるように合法的な方法と手続きに従って行われ、絶対多数の有権者がロシアとの統合を支持した」として、北朝鮮として「ドネツク人民共和国とルガンスク人民共和国、ヘルソン州、ザポロージェ州の住民たちを尊重し、上記地域を自らの構成(主体)として受け入れようとするロシア政府の立場を尊重する」旨の談話を発表した。

### 外務省が韓米合同軍事演習についての広報文発表

2022年10月6日付『朝鮮新報』によれば、外務省が次のような広報文を出した。

朝鮮民主主義人民共和国外務省は、米国と一部の追従国家が朝鮮半島の軍事的緊張を高める「韓」米連合訓練に対するわが軍の適当な対応行動措置を国連安全保障理事会に不当に持ち出していったことに対して強く糾弾する。

われわれは、米国が朝鮮半島水域に空母打撃集団を再び入れ、朝鮮半島と周辺地域の情勢安定に嚴重な脅威をつくりだしていることを注視している。

主体111(2022)年10月6日  
平壤

### 金正恩國務委員長がロシアのプーチン大統領に祝電

2022年10月7日付『労働新聞』によれば、金正恩國務委員長がロシアのプーチン

ン大統領の70歳の誕生日に際して祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

モスクワ  
ロシア連邦大統領  
ウラジーミル・V・プーチン閣下

私は生誕70周年を迎えるあなたに心からの温かい祝賀のあいさつを送ります。

あなたは長期間国家元首の重責を担い精力的な活動を展開して、強力なロシア建設の雄大な戦略的目標を実現するための刮目する成果を収めたことで、広範な大衆の高い尊敬と支持を受けています。

こんにちロシアが米国とその追従勢力の挑戦と脅威を粉砕して、国家の尊厳と根本的利益をしっかりと守っているのは、あなたの卓抜した指導力と強靱な意志を抜きにしては考えることができません。

私は2019年にウラジオストクで行われたわれわれの初の対面で遂げられた合意に従い、伝統的な朝口友好・協力関係をより高い段階へ昇華・発展させ、地域の平和と安定を守り、国際正義を実現するための闘争において、両国間の相互支持と協力が前例なく強化されていることについてうれしく思います。

私は、歴史の風波の中で検証され、いっそう強固になった朝口友好を、時代の要求と両国人民の志向に合わせて絶えず強化・発展させていくうえで、われわれの間に結ばれた個人的な絆がより大きな役割を果たすようになるという期待を示すとともに、あなたが健康で幸福なことでロシアの繁栄を目指す責任ある活動で大きな成果を収めることを願います。

朝鮮民主主義人民共和国國務委員長  
金正恩  
チュチェ111 (2022) 年10月7日  
平壤

### 慈江道時中郡に板ガラス生産工程が竣工

2022年10月8日付『労働新聞』によれば、慈江道時中郡の時中ガラス工場に板ガラス生産工程が新たに確立された。これは、各地方の原料に基づくさまざまな建材生産基地を実利が得られるように整備し、

多様な建材を多く生産するべきという党政策を体したものであるとのことである。地元に近い原料資源を利用して、原料投入から製品完成に至るまでフロー式になっている板ガラス生産工程をもったもう一つの建材生産基地が築かれたとしている。建設は同工場の従業員と時中郡の青年突撃隊員が行ったとのことである。

### 清津木材加工工場が新たに改築

2022年10月8日付『労働新聞』によれば、清津木材加工工場が新たに改築された。報道では、道所在地に家具工場をモデルとして建設し、建具を生産して、市、郡に供給するべきという党政策を体したもので、「党の恩情によって建てられた」としている。工場では、既存の数十台の木材加工設備を整備・補修し、能率の高い新しい設備の設置を短期間で終えて、建具と家具を量産することのできる準備を十分に整えたとしている。

### 咸鏡南道建材展示会が行われる

2022年10月10日付『民主朝鮮』によれば、咸鏡南道咸興市で行われた咸鏡南道建材展示会に道内の数十個の単位で生産した各種の製品が出品されたとのことである。咸鏡南道製鋼工場と城川江タイル工場、国家科学院咸興分院と咸興化学工業大学、咸興建設大学の研究チーム、2.8ピナロン連合企業所、咸興戦傷栄誉軍人プラスチック製日用品工場、木製品生産単位のほか、定平郡と端川市、咸興市東興山区域、金野郡、高原郡、利原郡などが各種建材や技術を出品した。

### 連浦温室農場の竣工式が行われる

2022年10月11日付『労働新聞』によれば、同月10日、咸鏡南道咸州郡連浦里で連浦温室農場の竣工式が行われた。金正恩朝鮮労働党総書記が竣工式に参加し、テープカットを行った。同農場は280ヘクタールの敷地に850余棟の水耕および土壌温室と、地方の特色を生かした1,000余世帯の住宅、学校、文化会館、総合サービス施設などがそろう大型の農場である。建設は主に朝鮮人民軍の将兵が行ったとのことである。

### 万景台革命学院と康盤石革命学院の創立75周年

2022年10月13日付『労働新聞』によれば、万景台革命学院と康盤石革命学院の創立75周年記念行事が同月12日、万景台革命学院で行われた。金正恩総書記が参加し、「万景台革命学院と康盤石革命学院はチュチェ偉業が億年青々とすることを保証する中核育成の原種場になれ」との演説を行った。

### 朝鮮労働党中央委員会が中国共産党第20回大会に祝電

2022年10月16日付『労働新聞』によれば、朝鮮労働党中央委員会が中国共産党第20回大会に祝電を送った。その内容は以下の通り。

北京

中国共産党第20回大会 宛

朝鮮労働党中央委員会は中国共産党第20回大会を熱烈に祝い、中国共産党のすべての党员と兄弟の中国人民に同志的あいさつを送ります。

中国共産党は受難多き中国人民を奮い立たせて新しい中国を立てたし、社会主義現代化国家建設のために奮闘して刮目する成果をおさめました。

これまで10年間、党建設と党活動を強化しながら中国人民を指導して国家の持続的発展と繁栄を成し遂げ、主権と領土保全を守り抜くための闘争を力強く展開して総合的国力と国際的地位を著しく高めました。

中国で収められた成果は、党の周りに結集して新時代中国の特色ある社会主義思想の指し示す道に沿って前進する中国人民を遮ることができないことを実証しています。

われわれはこれに対して心からうれしく思います。

中国共産党第20回大会は中国人民の新しい百年の道のりでの重要な里程碑をもたらす政治的出来事です。

朝鮮労働党は今回の大会が習近平同志を核心とする中国共産党の指導力をいっそう強めることによって社会主義中国の勝利的前進を裏付け、全人民を中華の復興に向かう目標遂行へと奮起させる歴

史的大会になると確信します。

今日わが両党はいつにもまして複雑多難な国際的環境の中でも変わらず支持、協力しながら両国人民の共通の利益を守り抜き、社会主義の偉業を強く牽引しています。

朝鮮労働党は今後も中国共産党と共に両党領袖たちの心血が込められたわれわれの同志的絆をさらにしっかり固めて発展させて朝中関係のすべての領域でその生命力がより力強く誇示されるように積極的に努めるでしょう。

中国共産党第20回大会が立派な成果を収めることを心から願います。

朝鮮労働党中央委員会

チュチェ111 (2022) 年10月16日  
平壤

### 金正恩総書記が中央幹部学校を訪問、記念講義を行う

2022年10月18日付『労働新聞』によれば、金正恩総書記が同月17日、中央幹部学校を訪問し、「新しい時代のわが党の建設方向と朝鮮労働党中央幹部学校の任務について」と題する記念講義を行った。

この演説の中で、金正恩総書記は過去10年間の党建設を「自己強化において歴史的意義を持つ継承期と発展期を経た」とした。その上で、2012年4月に行われた朝鮮労働党第4回代表者会議について、「革命偉業継承の歴史的課題が前面に提起されたことに応じて、継承性が徹底した党の指導思想と最高綱領を確定し、その実現を確信をもって導くことのできる新たな指導部を構成した」と規定した。2016年5月にあった朝鮮労働党第7回大会については、「わが党の歴史において36年ぶりに行われた大会として党の強化・発展において新しい段階を切り開いた」と位置づけた。また、2021年1月に開かれた朝鮮労働党第8回大会については、「党の指導力と戦闘力を全面的に強化する上で新たな革命的転換をもたらした」「第8回大会を起点にして、わが党は5年を周期として革命発展と自己強化をけん引する定期的かつ効果的な活動体系を持つことになり、党建設と党活動の原理に即して改正された党規約と再調整、再整備された党の各中央

組織の機能と役割に基づいて、党活動全般を持続的に、革新的に深化、発展させていけるようになった」という見解を示している。

また、この10年の党建設と党活動において収めた成果は第一に「思想と指導の唯一性を確固と守り抜き、継承したこと」であり、第二に「指導的機能と役割を非常に強めたこと」であり、第三に「人民に奉仕する革命的な性格をいっそう強化した」としている。さらにこの10年で「党の指導力が非常に強化され、党組織の戦闘力と活動性が向上した」と指摘している。その中で重視されたこととして、「革命の参謀部である党の指導的地位と機能に即して党大会と党中央総会、政治局会議をはじめ、重要党会議を定期的に稼働させる制度を復元し、その運営を改善すること」があったとしている。

### 「秋季全国履物展示会-2022」開幕

2022年10月19日付『労働新聞』によれば、朝鮮科学技術総連盟中央委員会と軽工業省の主催で「秋季全国履物展示会-2022」が開幕し、同月18日に平壤駅前百貨店で開幕式が行われた。同展示会のテーマは「靴の多様化、多様化、多色化、軽量化、堅固性」であり、元山製靴工場、柳園履物工場、ソチョンヘドン工場、羅先サムリョン履物工場、西城松島靴製作所をはじめとする数十単位で生産された1000余種、10万余点の製品が出品され、履物工業部門で成し遂げられた60余件の研究成果資料が提出された。会期は同月27日までとのことである。

### 内閣総会拡大会議が行われる

2022年10月20日付『労働新聞』によれば、同月19日に内閣総会拡大会議が行われ、金徳訓内閣総理が会議を指導した。パク・チョンゴン、楊勝虎内閣副総理をはじめとする内閣のメンバーが参加した。

内閣直属機関、省機関の活動家、道、市、郡人民委員会の各委員長、農業指導機関、主要な工場、企業所の活動家が傍聴した。

会議では党中央委員会第8期第4回、第5回総会決定貫徹のための第3四半期人民経済計画の実行情況を総括し、金正恩同志が最高人民会議第14期第7回会

議で行なった歴史的な施政演説に提示された課題を貫徹し、今年の闘争を成功裏に締めくくろうと提起される対策問題を討議した。

パク・チョンゴン内閣副総理兼国家計画委員会委員長が報告を行い、討論が行われた。

### 金正恩朝鮮労働党総書記が習近平中国共産党中央委員会総書記に祝電

2022年10月24日付『労働新聞』によれば、金正恩朝鮮労働党総書記が習近平中国共産党中央委員会総書記に祝電を送った。祝電の内容は次の通り。

北京

中国共産党中央委員会総書記  
習近平同志

私は、中国共産党第20回大会が成功裏に行なわれ、党中央委員会総書記に再選されたといううれしい報せに接して、最も熱烈な祝賀を送ります。

中国共産党第20回大会は、中国の党と人民が総書記同志を中核とする党中央の周りにいっそう固く団結して、新時代の中国特色の社会主義思想の旗印の下、中華民族の偉大な繁栄の歴史的過程を推進する上で画期的な里程碑をもたらしました。

総書記同志が中国共産党を導く重任を引き続き担うことになったのは、全ての党員と人民の変わらない信頼と支持、期待を示しています。

総書記同志の指導の下、中国共産党と中国人民が中国特色の社会主義を堅持し、発展させ、社会主義現代化国家を全面的に建設する新しい道程で、輝かしい勝利を収めるであろうことを確信します。

こんにち、朝中の両党は団結と協力をいっそう強化しながら、いかなる情勢の変化と挑戦の中でも微動だにせず、社会主義を中核とする両国の関係発展を力強く牽引しています。

私は総書記同志と共に、時代の要求に応じて朝中関係のより美しい未来を設計し、その実現を導いて両国での社会主義偉業を引き続き強力に促していくでしょう。

総書記同志が健康であることと、中国の党と人民のための責任ある活動でさらなる成果を収めることを心から願います。

**朝鮮労働党総書記**

金正恩

チュチェ111 (2022) 年10月23日

平壤

**清津市遊園地に乗馬路が新たに建設**

2022年10月24日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡北道清津市の清津市遊園地に新たに乗馬路が建設された。

**大成山アイスクリーム工場竣工**

2022年10月27日付『労働新聞』によれば、同月26日、平壤市の大成山アイスクリーム工場が竣工し、竣工式が行われた。同工場は慶興貿易局に所属するようである。

**「婦人服展示会-2022」が開幕**

2022年10月28日付『労働新聞』によれば、同月27日、「婦人服展示会-2022」の開幕式が平壤市西城区の三大革命展示館で行われた。展示会場には、銀河貿易局、烽火貿易局、平壤市被服工業管理局をはじめとする全国の衣料品生産単位、各地の洋裁店を含む540余りの単位で作られた30代、40代女性の季節衣料が展示された。展示会ではまた、女性の服装に似合う靴、ハンドバッグ、ブローチ、髪飾り、帽子などの嗜好品と、女性が好む化粧品、良質の服地も出品されたとのことである。開催期間、衣服加工単位間の技術交流、需要者と被服生産単位との相談があり、製品に対する専門家審査、大衆審査と共に注文サービスも行われるとのことである。

**金星トラクター工場1段階改築対象竣工式**

2022年11月3日発『朝鮮中央通信』によれば、同月2日、金星トラクター工場1段階改築対象竣工式が行われた。金徳訓内閣総理が参加し、竣工の辞を述べた。

**咸興青年1号発電所竣工式**

2022年11月7日付『労働新聞』によれば、同月6日、咸興青年1号発電所竣工式が行われた。リ・ジョンナム咸鏡南道党委員会責任書記とキム・ヨンシク咸鏡南道人民委員会委員長、パク・ドン Chol 道農業経営委員会委員長、建設に参加した突

撃隊員、定平郡内の活動家、勤労者、発電所従業員がこれに参加した。キム・ヨンシク咸鏡南道人民委員会委員長が竣工の辞を述べた。

**咸鏡北道電子業務研究所新たに建設**

2022年11月10日付『労働新聞』によれば、咸鏡北道清津市に咸鏡北道電子業務研究所が新たに建設された。プログラム開発室をはじめとする研究開発室と事務室が備わった電子業務研究所が建てられたことで、道内の各部門の生産と経営活動の情報化を実現することに寄与することができるようになったとのことである。

**金正淑教員大学の改築現代化工事完成**

2022年11月14日発『朝鮮中央通信』によれば、同月13日、咸鏡北道会寧市の金正淑教員大学の改築現代化が竣工し、竣工式が現地で行われた。キム・チョルサム咸鏡北道党委員会責任書記とパク・マンホ道人民委員会委員長、関係者、建設者、金正淑教員大学教職員、学生、道内の大学部門の活動家と教員、会寧市の勤労者がこれに参加した。パク・マンホ道人民委員会委員長が竣工の辞を述べ、その後決意討論が行われた。

**最高人民会議常任委員会常務会議開催**

2022年11月16日付『労働新聞』によれば、同月15日、最高人民会議常任委員会常務会議が15日に行われた。会議では便益サービス法、会計検証法、廃物取扱法、地震、火山被害防止および救助法、非常防疫法の修正・補充案を審議し、当該の政令を採択した。

**開城市の龍首山ミネラルウォーター工場が竣工**

2022年11月18日発『朝鮮中央通信』によれば、開城市の龍首山ミネラルウォーター工場が竣工し、同月17日、竣工式が行われた。

**咸鏡北道清津市の清津少年野外劇場が竣工**

2022年11月19日発『朝鮮中央通信』によれば、咸鏡北道清津市の清津少年野

外劇場が竣工し、同月18日、竣工式が行われた。同劇場は海岸べりにあり、5000席の観覧席と舞台、グループ室、楽屋、照明設備塔が備えられているそうである。

**金正恩総書記が新型大陸間弾道ミサイル試射を視察・指導**

2022年11月19日付『労働新聞』によれば、同月18日、金正恩総書記が戦略武力の新型大陸間弾道ミサイル試射を平壤市順安区域の平壤国際空港で指導した。新型大陸間弾道ミサイル「火星砲-17」型は、最大頂点高度6040.9キロメートルまで上昇し、距離999.2キロメートルを4,135秒飛行して、日本海の公海上の予定水域に正確に着弾したとのことである。

**第5回保衛活動家大会行われる**

2022年11月25日付『労働新聞』によれば、第5回保衛活動家大会が同月19日から23日まで平壤市で行われた。朴正天朝鮮労働党中央委員会書記とリ・チャンデ国家保衛相、朴寿日社会安全相、ウ・サン Chol 中央検察所長が大会に参加した。国家保衛省をはじめとする各級保衛機関と武力部門保衛機関の指揮メンバー、保衛活動家に参加した。司法、検察、社会安全部文活動家が傍聴した。

金正恩総書記が第5回保衛活動家大会参加者に送った綱領的な書簡が伝達された。

**習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党総書記に答電**

2022年11月26日発『朝鮮中央通信』によれば、同月22日、習近平中国共産党中央委員会総書記が金正恩朝鮮労働党総書記に答電を送ってきた。内容は次の通り。

先日、朝鮮労働党中央委員会と総書記同志は中国共産党第20回大会が招集され、私が中国共産党中央委員会総書記として再び選挙されたのに対し、情熱にあふれた祝電をそれぞれ送ってきました。

これは、総書記同志と朝鮮党中央が私自身と中国党と人民に対する親善の情を抱き、中朝関係発展を高度に重視していることを示しています。

私は中国共産党中央委員会とそして私自身の名前で総書記同志と朝鮮党中央

に衷心となる謝意を表し、総書記同志と朝鮮党と人民に心からの挨拶を送ります。

私は中朝関係を非常に重視しています。

近年、私と総書記同志は何度も再会し、一連の重要な共同認識を成し遂げ、中朝関係を導き、新たな歴史の場を開いてゆくことで、半島問題の政治的解決過程を推進し、両国人民の共同の利益を力強く守り、両国社会主義偉業を力強く守

護し、地域と進んで世界の平和と安定を力強く守護しました。

今、世界の変化、時代の変化、歴史の変化は、前例のない方法で起こっています。

新しい形勢下で、私は総書記同志とともに中朝関係を設計し、導く事業を強化し、中朝関係を見事に守護し、見事に固め、見事に発展させ、両国人民により良い福利をもたらし、両国社会主義偉業の発展

を推進し、地域、さらには世界の平和と安定、発展と繁栄を促進するために、新しく積極的な貢献をする意思があります。

総書記同志が朝鮮党と人民を指導し、朝鮮の社会主義建設偉業で新たなより大きな成果を収めることをお祈りします。

ERINA 調査研究部主任研究員

三村光弘